



ニュースリリース

2015年7月15日
一般社団法人IT検証産業協会

国際標準規格によるソフトウェアテスト解説を公開
～ ISO/IEC/IEEE29119 Part1～Part3 を実務視点から捉えた解説 ～

一般社団法人IT検証産業協会（会長：浅井清孝、略称：iVIA）は、国際標準規格として制定されたISO/IEC/IEEE 29119 ソフトウェアテスト*の日本語の解説を作成し「国際標準規格によるソフトウェアテスト解説」として2015年7月15日に公開しました。

本解説書は、国際標準規格とはどのようなものかをソフトウェア検証技術者向けに解説したものです。ソフトウェアテストに関わる多くの方々に本書を広く活用していただき、国際標準規格を理解し、国際的に通用するテスト業務の遂行や、テスト業務をグローバルに展開する一助になればとの思いから、いち早く作成し公開いたしました。

IoT時代を迎え、コンピュータ機器だけでなく世界中のあらゆるものがネットワークにつながり、グローバルなシステムを構成するようになってきました。ソフトウェア（組込みソフトウェアも含む）は、このようなシステムを構成する機器や物に搭載され、グローバルに対応できる多様な要求にこたえる重要な機能を担っています。そして、ソフトウェアの品質や接続性を保証するためのテストにおいては、国際的な標準化が重要になってきています。

これまで半世紀にもわたるソフトウェア開発の歴史の中で、各組織がそれぞれの考え方で、（あるいは自組織の製品開発に特化して、あるいは手探りをしながら）テストを行ってきました。また、ソフトウェアの適用分野、開発規模の広がりには多様化する一方であり、製品／サービスの特性、求められる品質レベルに応じて、テストのあり方も多様化しています。

こうした経緯から、ソフトウェアのテストといっても、組織や、開発するソフトウェアが異なれば、まったく異なるテストのやり方をしているのが現状です。

ISO/IEC/IEEE 29119 は、こうした状況に対し、ソフトウェアテストの望ましいあり方を提示するものです。本規格は次のことを意図しています。

- ・本規格で提示されているテストの考え方（プロセス、文書、テスト技法）は、国際的に通用するものである
- ・あらゆるソフトウェア組織に適用可能である。
- ・あらゆるソフトウェア開発に適用可能である。



「IT 検証産業協会：IT Verification Industry Association：略称 IVIA（アイビア）」では、このソフトウェアテスト国際標準規格をいち早く理解し、取り込むことが、これからの日本の検証業界の発展ひいては IT 業界の発展に寄与すると考えています。

本解説書では、ISO/IEC/IEEE 29119 について、以下の点を中心に解説しています。

- ・ テストプロセスの外観
- ・ 組織レベルの方針/戦略
- ・ テスト文書

■ 「国際標準規格によるソフトウェアテスト解説」の主な特徴

- ・ ISO/IEC/IEEE 29119 の特徴を検証技術者に分かり易く解説している。
- ・ ソフトウェア検証を業務としているテスト技術者が解説しているので、日本の現場の方が理解しやすい記述になっている。
- ・ 実際のテストプロジェクトを想定して、テスト業務に必要な文書例を中心に、プロセスも解説している。

本日、この「国際標準規格によるソフトウェアテスト解説」をソフトウェアテストに関わる多くの方々に広く活用していただき、国際標準規格を理解することにより、国際的に通用するテスト業務を遂行でき、テスト業務をグローバルに展開する一助になればとの思いから、いち早く作成したものを公開いたしました。

IVIA は、よりよい IT 検証サービスを目指して会員同士が研鑽し合い、業界の健全なる発展を促進するための活動を今後とも継続していきます。

■ 「国際標準規格によるソフトウェアテスト解説」のダウンロード

<http://www.ivia.or.jp/item/121.html>

■ 本件に関するお問い合わせ先

一般社団法人 IT 検証産業協会（IVIA）

E-mail： ivia_office@ivia.or.jp

—以上—

(注) *2015 年 5 月現在、Part1～Part3 までが制定されています（全 5 部構成）。